

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 5日 更新

事務事業名		合生文化会館熊本県隣保館連絡協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	田中 政吉
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	宮本 拓摩
	施策の柱	44	人権教育啓発活動実践の推進			所属班	合生文化会館	(内線)	096-242-3218
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 10	事業連番	10893	根拠法令	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	県内の隣保館で構成される熊本県隣保館連絡協議会が行う事業（研修会、先進地視察等）への参画。県内隣保館職員の資質の向上と隣保館事業の充実発展。人権・同和問題に対する隣保館職員の認識を深める。令和5年度より合生文化会館運営事業に統合。
【業務の流れ】	協議会負担金納付、先進地研修等の旅費計算・支出、研修への参加、復命書作成、旅費精算
【主な予算費目】	旅費、参加資料代、熊本県隣保館連絡協議会負担金
【意見や要望】	新型コロナウイルスに対応した施設運営の在り方、実施事業の工夫などに関する研修内容の充実。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)		5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
8月県隣協先進地研修(兼、県隣協中央ブロック先進地研修)、県隣協の初任者研修(1人参加)や職員研修(1人参加)、9月全隣協九州ブロック女性職員研修(1人参加)、10月県隣協宿泊研修(1人参加)、11月全隣協九州ブロック職員研修会(1人参加)、2月全隣協ブロック別学習会(オンライン参加)、2月県隣協50周年50周年記念講演会に参加し、会館職員としての資質向上に努めた。 令和3年度:10月全隣協館長研修(オンライン1人参加)、11月全隣協九州ブロック研修会(阿蘇1人参加)、2月九州ブロック学習会(オンライン1人参加)、県隣協の初任者研修(1人参加)、や職員研修(1人参加)等に参加し、会館職員としての資質向上に努めた。県隣協先進地研修、県隣協中央ブロック先進地研修、県隣協宿泊研修は中止となった。		県隣協主催の会議、研修会、全隣協主催研修等に参加。 令和5年度より合生文化会館運営事業に統合。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
ア 研修会等の回数	回	隔年開催される全国隣保館長研修会参加等による旅費の増	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
合生文化会館職員(会計年度任用職員職員含)		ア 職員数	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
隣保館職員としての資質の向上		ア 研修に参加した職員が有意義な研修と感じた人数	人
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	ア 回		6	6	8	8	0	0	0	0
② 対象指標	ア 人		2	2	2	2	0	0	0	0
③ 成果指標	ア 人		2	2	2	2	0	0	0	0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	22	6	108	119			
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	一般財源	千円	167	140	187	141			
		(A) 事業費計	千円	189	146	295	260	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	140	140	140	140	0	0	0
		(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0	0
	延べ業務時間	時間	0	0	430	475	0	0	0	
	(B)人件費計	千円	0	0	1,713	1,807	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	189	146	2,008	2,067	0	0	0	

事務事業名	合生文化会館熊本県隣保館連絡協議会参画事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	-----------------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 コロナ禍であるが、予定されていた研修会は感染症対策等を徹底し実施された。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 研修会等に積極的に参加し、会館運営手法の向上、人権意識の向上に努める。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 参加できるすべての事業に出席している。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似する事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 会館運営の事業推進、職員の人権意識を図るうえでは、必要な事業費であり削減の余地はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 会館運営の事業推進。職員の人権意識を図るうえでは、必要な事業費であり人件費の削減の余地はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 会館事業を更に推進し、職員の資質向上を図ることは市民への啓発につながるものであり、公平、公正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 施設運営の向上、事業の推進に携わる職員の研修を行うものであり、役割分担は適正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

会館運営の参考となる事例を研修することにより、会館事業を通した市民への啓発を行うことができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案) ・ ・ ・ 複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						